



# せたがや区議会だより

No.214

平成20年(2008年)4月25日  
発行 世田谷区議会

〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27

TEL (5432) 1111代表 FAX (5432) 3030

http://www.city.setagaya.tokyo.jp/kugikai/

## 平成20年度予算を可決

## 第1回 定例会



地区の皆さんによって運営されている花壇（東玉川地区会館）

### 議決内容

議決された案件の概要をご紹介します。今回の定例会には、区長から59件の案件が提出され、すべて原案どおり可決しました。

#### ●20年度各会計予算 6件

○一般会計

賛成多数 賛成：良、公明、民主連、生ネ、政策、社民、虹、無所属  
反対：共産、無党派

○国民健康保険事業会計

賛成多数 賛成：良、公明、民主連、生ネ、政策、社民、虹、無所属  
反対：共産、無党派

○後期高齢者医療会計

賛成多数 賛成：良、公明、民主連、生ネ、政策、社民、虹、無所属  
反対：共産、無党派

○老人保健医療会計

賛成多数 賛成：良、公明、民主連、生ネ、政策、社民、虹、無所属  
反対：共産、無党派

○介護保険事業会計

賛成多数 賛成：良、公明、民主連、生ネ、政策、社民、虹、無所属  
反対：共産、無党派

○中学校給食費会計

賛成多数 賛成：良、公明、民主連、生ネ、政策、社民、虹、無所属  
反対：共産、無党派

○19年度各会計補正予算 4件

○一般会計(第二次)

賛成多数 賛成：良、公明、民主連、生ネ、政策、社民、虹、無所属  
反対：共産、無党派

○国民健康保険事業会計(第二次)

賛成多数 賛成：良、公明、民主連、生ネ、政策、社民、虹、無所属  
反対：共産、無党派

○老人保健医療会計(第二次)

賛成多数 賛成：良、公明、民主連、生ネ、政策、社民、虹、無所属  
反対：共産、無党派

○介護保険事業会計(第二次)

賛成多数 賛成：良、公明、民主連、生ネ、政策、社民、虹、無所属  
反対：共産、無党派

補正後の予算額は次のとおり。  
一般会計 二四三億八三九万円  
国保会計 七七六億八一〇四万六千円  
老保会計 五八・一億 一六万六千円  
介護会計 三九三億三九八〇万七千円

#### ●条例の新設 4件

○教育に関する事務の職務権限の特例条例

賛成多数 賛成：良、公明、民主連、生ネ、政策、社民、虹、無所属  
反対：共産、無党派

○地方教育行政法の改正に基づき、スポーツに関する事務を区長が管理、執行することを規定。

○長期継続契約条例(全員賛成)

地方自治法及び同施行令の規定に基づき、長期継続契約を締結することができる契約を規定。

○後期高齢者医療条例

賛成多数 賛成：良、公明、民主連、生ネ、政策、社民、虹、無所属  
反対：共産、無党派

○後期高齢者医療制度の創設に伴い、区が行う事務などを規定。

○災害対策基金条例(全員賛成)

災害応急対策の充実に早期復旧を図るための基金の設置。

○組織条例 30件

○生活文化部の分掌事務の変更など。

○区議の報酬・費用弁償条例

賛成多数 賛成：良、公明、生ネ、政策、社民、虹、無所属  
反対：民主連、共産

○区長等の給料条例

賛成多数 賛成：良、公明、生ネ、政策、社民、虹、無所属  
反対：民主連、共産

○監査委員の給与条例

賛成多数 賛成：良、公明、生ネ、政策、社民、虹、無所属  
反対：民主連、共産

○教育長の給与・勤務時間条例

賛成多数 賛成：良、公明、生ネ、政策、社民、虹、無所属  
反対：民主連、共産

以上4件は、期末手当の支給割合の改定。

○手数料条例(全員賛成)

建築物に関する計画通知手数料に係る事務の変更など。

○職員退職手当条例(全員賛成)

○職員の勤務時間、休日、休暇条例(全員賛成)

○幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇条例(全員賛成)

○職員給与条例(全員賛成)

○幼稚園教育職員給与条例(全員賛成)

以上6件は、育児休業法の改正に伴う育児短時間勤務職員などの給与の規定など。

○介護保険条例(全員賛成)

保険料率の特例措置を20年度まで延長。

○国民健康保険条例

賛成多数 賛成：良、公明、民主連、生ネ、政策、社民、虹、無所属  
反対：共産、無党派

国民健康保険法などの改正に伴う保険給付の範囲の変更や保険料率の改定など。

○高額療養費等資金貸付基金条例(全員賛成)

○ひとり親家庭の医療費助成条例(全員賛成)

以上2件は、老人保健法の改正によるもの。

○自転車条例(全員賛成)

自転車駐車場の使用期間の単位などの変更、烏山中央自転車等駐車場(南烏山5-17-23)の新設、若花公園南自転車等駐車場(南烏山2-38-6)の廃止。

○公園条例(全員賛成)

次の公園の新設。

名称	所在地
世田谷二丁目ふれあい公園	世田谷2-22-8
若林五丁目緑と子ども公園	若林5-28-6
千歳台三角公園	千歳台6-11-32

～8ページへ続く～

公職選挙法の規定により、議員の寄附行為や時候のあいさつなどは禁止されています。

# 代 表 質 問

自由民主党世田谷区議員

島山 晋一議員

## 環境対策に臨む区の基本姿勢

**質問** 温暖化対策が主要テーマの洞爺湖サミットを控え、世界的に環境問題への関心が高まっている。20年度予算をみどり予算と銘打つ区の基本姿勢を教えてください。

**区長** 全国に発信しようとする環境都市世田谷の実現に向け全力を尽くす。

**環境マネジメントシステムの活用** 区は環境ISO認証の維持に追われ、日常業務に環境マネジメントシステムが生かされてい

ない。システムの活用方法を見直し、環境負荷の低い行政運営を進めよ。

**環境対策室長** 成果が上がるシステムへの改善に向け調査研究する。

**庁舎問題への対応** 老朽化が進む本庁舎は、災害時の機能面などに多くの問題を

抱えており、改築の必要性は明らかだ。改修で問題を先送りせずに、改築に向けて具体的に取組む。

**副区長** 議会や区民の理解を得ながら、区としての方針を策定する。

**将来を見通した行政運営** 景気の拡大に陰りが見え始めた今こそ、予防型行政を推進することが大切だ。基本計画が指

す区政の実現に向け、各分野が一体となって総合的に取組む。

**区長** 新たな実施計画などに基き、予防型行政をさらに推進する。

**犯罪抑止効果が高い施策の充実** 区内の窃盗犯罪は減っているが、暴力などの犯罪は増加傾向

にある。社会の不安を解消するため、防犯カメラの整備など犯罪抑止効果の高い施策を一層推進せよ。

**区長** 防犯カメラの整備拡充など、安全安心のまちづくりを進める。

**電線類地中化のさらなる推進** 狭い道路の改善や都市景

観の向上には、電線類の地中化の推進が必要だ。ソフト地中化方式などの新技術の導入も検討し、生

活環境重視の視点で取組む。

**土木事業部長** 都にも支援を求めながら、計画的、積極的に進める。

**京王線沿線地域のまちづくり** 京王線の連立化は、国の新規着工準備箇所として予算計上さ

れる段階まで進んだ。区は今後、連立化とあわせて行う沿線地域のまちづくりの推進に全力を傾けよ。

**区長** 区政の最重要課題の一つとして位置づけ、全力で取組む。

**実効性が高い交通安全教育の実施** 19年の区内の自転車事故発

生件数は都内ワースト1であり、予防対策の強化が必要だ。実効性

が高い参加体験型の交通安全教育を幅広い世代を対象に実施せよ。

**交通政策部長** 20年度に中高生と高齢者対象の交通安全教室を行う。

**親しまれる商店街づくり** 商店街の活力が衰え、地域

コミュニティの機能が衰え、地域の活気が低下している。産業ビジ

ョンで商店街を区民の生活支援拠点と位置づけ、活性化に力を注げ。

**産業政策部長** 商店街の生活支援拠点としての機能充実に支援助する。

**介護人材の確保に向けた取組** 介護職の介護職の人材不足の解決は、待遇改善だけでなく専門技

術を磨ける職場づくりが不可欠だ。介護職の向上心にかたえる研修を支援し、職場への定着を図れ。

**保健福祉部長** 魅力ある職場づくりに支援助し、人材確保に努める。

**子どものスポーツの機会の拡充** 子どもの成長にスポーツが

果たす役割は大きい。中学校の部活動への支援を強化するなど学校

での取り組みを充実し、子どもがスポーツに親しむ機会を拡充せよ。

**生涯学習部長** 外部指導員などを活用し、部活動の充実を図る。

**環境教育の重要性の再認識** 環境問題は、未来の地球を

左右することであり、今の子ども

の将来にも大きく影響する。世田谷から世界を変えようという意気込

みで、積極的に環境教育を行え。

**教育長** 主体的に行動する力が育つよう学校の環境教育を充実する。

## インターネット録画中継の速報版を始めました！

本会議、予算委員会、決算委員会での質疑の様子を会議の翌朝から速報版としてごらんいただけます。  
※議員の質疑時間ごとに編集した通常の録画中継は、会議終了後、2日～2週間後からごらんいただけます。

○速報版は、区議会トップページの「議会中継」からごらんください。



予算特別委員会 採決

次回、第2回定例会は6月に開催する予定です。  
会期などは、今後区議会ホームページでお知らせいたします。  
《ホームページアドレス》  
<http://www.city.setagaya.tokyo.jp/kugikai/>

公明党世田谷区議員

栗林 のり子議員

## 保育待機児ゼロに向けた決意

**質問** 保育待機児ゼロは区政の最重要課題であり、区は保育サービス受け入れ枠の拡充に取り組んできたが、いまだに解決していない。

**区長** 3年間で約110名の受け入れ枠を拡充する新たな計画を進める。

**障害者の親亡き後対策の充実** 障害者が親亡き後も地域で安心して自立した生活を送るには、

グループホームなどの住宅の整備が不可欠だ。福祉先進都市として

全国に誇れる施策を展開せよ。

**保健福祉部長** 今後もグループホームの整備誘導などに力を注ぐ。

**後期高齢者医療制度への対応** 4月から始まる後期高齢者医療制度は、内容が十分理解され

ておらず誤解も多い。制度に関する相談にきめ細かく対応するため、お問い合わせセンターを開設せよ。

**保健福祉部長** せたがやコールなどを活用し個別相談にも対応する。

**都立梅ヶ丘病院の跡地利用** 移転が迫った都立梅ヶ丘病院の跡地利用方法の検討に着手す

べきだ。老健やケアハウスの誘致など、梅丘が世田谷の保健、医療、福祉の中心地となるよう整備せよ。

**保健福祉部長** 今後も都の動向に注意を払い、適切に対応していく。

**がん撲滅に向けた独自の取り組み** 国民の2人に1人はがんになっ

てきている現状を踏まえ、がん対策を強化すべきだ。がん撲滅に向けた独自の取り組みを進めよ。

**保健所長** がん検診受診の際の利便性を確保し受診率を向上させる。

**介護職への経済的支援** 報酬の安さが原因で介護職

を離れざるを得ない人が多く、介護システムの崩壊が危惧される。

介護職に対し独自に報酬を加算する仕組みの導入を検討せよ。  
**保健福祉部長** 国に対し、介護報

酬の引き上げを要請している。

**都市農地保全策の強化** 減少を続ける区内農地の保

全が急務だが、国の保全制度は利用条件が厳しく、農業の継続をあ

きらめる農家が多い。課題解決につなげる区独自の策を打ち出せ。

**産業政策部長** 農業を自信を持って継続できる環境づくりを進める。

**区営住宅の使用承継制度の見直し** 都営住宅では、入居者が死

亡した場合などに住宅の使用権を承継できる同居者の範囲が拡大

された。区営住宅においても速やかに同様の措置を講じよ。

**副区長** 高齢者や障害者などに一層配慮した承継基準に見直す。

**ほっとスクールの増設** ほっとスクールに通う児童

生徒の住所は区内全域にわたるが、施設は区内に2カ所しかない。不

登校の子どもの居場所の拡充に向け、区は今後どう取り組むのか。

**教育改革部長** 保護者の要望にこたえられる不登校対策に努める。

民主党・無所属連合

風間 ゆたか議員

**予算への会派要望の反映** 我が会派は、20年度予算編

成に対する要望を50以上の具体的な項目に分けて提示した。どのよう

な分野の予算に反映したのか。

**区長** 世田谷型福祉のまちづくりと健康づくりの予算の充実などだ。

**外郭団体の改善** 区の行財政改革を一層進める

ためには、外郭団体の改善が不可欠だ。我が会派が歳出削減プランで示した外郭団体への補助金の

10%削減を実施せよ。

**政策経営部長** 補助金総額は19年度に比べて若干マイナスになる。

**産業ビジョン検討メンバーの選** 世田谷の産業の方向性を示す上でビジョンの策定は重要であり、幅広い人材による検討が必要だ。新たな産業の創出に実績のある区民などを積極的に起用せよ。

**産業政策部長** 事業の組み立てや実施の段階で、幅広く協働する。

**まちづくりの進め方に対する認識** 区のまちづくりの進め方に

不満を抱く区民は多く、130号線沿線の地区計画案などには多数の反対意見が出ている。区はこの現状をどう認識しているのか。

**都市整備部長** 区民や事業者と相互に協力することが重要と考える。

**医療制度改革への対応** 国の医療制度改革に伴い、

高齢者の医療費や保険料の負担増が見込まれる。区は、負担がふえる対象者の数を正確に把握し、低

所得者に対する軽減策を講じよ。

**保健福祉部長** 一定所得以下の場合に均等割保険料を軽減する。

**パンデミック対策** パンデミックとは世界的に

感染症などが流行することを指し、新型インフルエンザなどは、いつ

大流行してもおかしくない。区として今後取り組むべき課題を示せ。

**保健所長** 発熱外来など、外来医療の専門体制の整備が重要だ。

**保育待機児の解消** 区は保育施設の拡充計画を

前倒して待機児解消を図っているが、20年4月の認可保育園の待機児は100人を超える見込みだ。待機

児ゼロに向けて計画を修正せよ。

**子ども部長** 今後3年間に約100名の受け入れ枠を拡充する計画だ。

**教科日本語の教員の負担軽減** 教科日本語の実施では、担

当教員が本来の指導教科以外の内容の指導準備を強いられ、負担が

大きいと聞く。指導意欲を一層高めるためにも、負担軽減を図れ。

**教育長** 指導資料の充実、研修や校内体制づくりの支援に取り組む。

**英語教育の充実** 社会や経済のグローバル化

に対応できる教育が必要だ。世界にはばたく子どもたちを教育ビジョンに掲げる区として、小学校の段階から英語教育も積極的に進め、**教育改革部長** 区内先進校の事例を生かして一層の充実に取り組む。



代表質問、一般質問の模様をホームページで生中継・録画中継しています。  
<http://www.city.setagaya.tokyo.jp/kugikai/>  
**議会中継**をクリック！

## 2月26日及び27日の本会議で、6名の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

日本共産党世田谷区議団

中里 光夫議員

### 区独自の低所得者対策の実施

**質問** 予算規模は史上最高の2354億円、基金は643億円。財源はあるが道路・開発予算がふえるばかり。区独自の低所得者対策こそ行え。

**副区長** 幅広い分野で配慮しており20年度予算案にも反映している。環境問題に取り組む区長の姿勢

**質問** 温室効果ガスの削減は国際社会の重大な課題であり、自治体にも世界的な視野に立った取り組みが求められている。区長はどのような姿勢で取り組むのか。

**区長** 基礎的自治体としての役割を踏まえ、多様な手法で取り組む。太陽光発電の普及促進

**質問** 住宅都市世田谷の特徴を生かしたCO<sub>2</sub>削減への取り組みが必要だ。住宅への太陽光発電装置の設置が進むよう、民間資金の活用も含め、多様な方策を検討せよ。

**環境対策室長** 環境に優しいエネルギーの普及方法を検討する。  
**後期高齢者医療制度の保険料軽減** 後期高齢者医療制度は、75歳以上の高齢者に対して、受けられる医療の制限と高い保険料を押しつけるものだ。保険料の軽減など、区独自の支援策を講じよ。

**保健福祉部長** 保険料は都内で統一しており、独自の軽減は難しい。連立事業への住民意見の反映

**質問** 都が京王線代田橋駅〜八幡山駅の連立化を進める方針を示した。高架化、地下化の選択を検討する段階から、影響を受ける沿線住民の意見を十分反映せよ。

**交通政策部長** 駅周辺のまちづくりを、沿線住民とともに進める。

**就職活動支援体制のさらなる充実** 雇用の不安定化の進行に逆行し、国は下北沢ワークプラザを廃止する。区は、区民の就職活動を支援する体制を後退させざるを得ない。

**産業政策部長** 20年度に就労支援総合窓口を新たに開設する予定だ。

生活者ネットワーク世田谷議団

桜井 純子議員

### 分権に向けた区長の決意

**質問** 特別区制度調査会は、基礎自治体連合構想など、従来の都区制度の枠組みを超える新たな将来像を示した。この提案を受け、今後区は分権にどう取り組むのか。

**区長** リーダーシップを発揮し、特別区の改革の気運を高める。

**みどり率向上のための農地の保全** 20年度予算で重点的に取り組むとしたみどり政策の推進には、農地の保全が重要だ。産業の視点だけではなく、農地が持つ緑の価値を踏まえ、効果的な策を講じよ。

**区長** 新たな保全活用策を農家や事業者、区民と検討する。

**多くの区民参加によるまちづくり** 形骸化した区民参加型のまちづくりを見直すべきだ。街づくり条例のあり方の検討に当たっては、多くの区民意見を得られる新たな手法で区民とともに進めよ。

**都市整備部長** 多様な参加形態による区民参加の手法を工夫する。  
**男女共同参画施策の推進体制** 実施計画や産業ビジョンに基づく新たな男女共同参画施策の着実な推進に向け、体制の強化が急務だ。20年度の推進体制を示せ。

**生活文化部長** 産業政策部や子ども部、企業なども連携していく。障がい者が暮らしやすい環境整備

**質問** 障がい者が地域で安心して暮らせる仕組みが必要だ。暮らしの場の確保検討委員会の提言を受け、障がい者の立場に立つて暮らしやすい環境の実現に力を尽くせ。

**保健福祉部長** 委員会の報告を真摯に受けとめ、施策を充実する。

**母子家庭への支援策の充実** 母子家庭の平均収入は少なく、暮らしは大変厳しい。家賃補助や就職活動中の保育サービスなど、区独自の支援策を講じよ。

**子ども部長** 就労や保育の支援を進め、住まいの確保も検討する。

せたがや政策会議

小泉 たま子議員

### 地域行政制度の今後の展開

**質問** 区民不在のもとに出張所改革を行い、地域行政を推進してきた組織の名称の廃止を決めた。区長は全国に誇る区の地域行政を今後どう進めるのか。

**区長** 地域行政の三層制を堅持する中でさらに充実を図る。

**出張所改革の評価検証への疑問** 出張所改革を評価検証した報告案は、地区の実況の状況とかけ離れている。区長が区民の目線に立つて考えた結論と同じなのか。

**区長** 出張所改革は区民に定着しつつあると感じている。

**出張所の日曜日窓口の開設** 出張所の窓口サービスの拡大は、日曜日のニーズも把握して決めるべきだ。土曜日だけではなく日曜日も出張所窓口を開設せよ。

**地域政策部長** 試行の実績や費用対効果を踏まえ土曜日に開設する。

**地区の力を高める仕組みづくり** 地区の力を高めるには、縦割りの事務を見直し区民の立場で行政運営の仕組みをつくり直すことが必要だ。まずは出張所とあわせ、しんすこやかセンターを統合せよ。

**介護予防部長** 用賀複合施設構想の中で一体的整備を検討している。

**地区の伝統芸能や行事への支援** 地域古来の行事にこそ世田谷の伝統文化は残っている。地域振興という視点だけではなく、文化振興の一環として地区の伝統芸能や行事を積極的に支援せよ。

**区長** 各支所、教育委員会、文化部門が連携して環境整備を行う。

**学校を取り巻く仕組みの簡素化** 地域運営学校や学校協議会など、学校を取り巻く仕組みが複雑で、地域の区民は混乱している。地域で子どもをじっくりと育てるために、仕組みを簡素化せよ。

# 一般質問

2月27日及び28日の本会議では、29名の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

高久 則男議員(公明)

**区施設の計画的な建てかえ** 老朽化による建てかえ時期を迎える区施設は今後さらに増加し、将来莫大な改築経費が必要となる。厳しい財政状況の中、区施設の整備にどう取り組むのか。

**質問** 財源を勘案しながら着実に公共施設の整備に取り組む。

**障害者の工賃アップへの取り組み** 福祉作業所などで働く障害者の工賃水準の向上には、国の支援に加えた独自の取り組みが重要だ。福祉作業所製品の販路拡大の援助など、工賃アップを支援せよ。

**質問** 受注機会の拡大など、工賃アップに積極的に取り組む。

**高齢者の就労支援策の充実** 生活のために職を求めると高齢者がふえており、高齢者の就労支援は喫緊の課題だ。就職紹介や相談業務など、きめ細かい就労支援事業を産業振興公社で推進せよ。

**質問** 20年度に就労支援総合窓口を設け、実効性ある施策を進める。

**大庭 正明議員(政策)**  
**災害に強い世田谷の実現** 被災後の緊急対応と復興に全力を注ぐには、本庁舎の整備だけでは不十分だ。災害に強い世田谷の実現を目指し、全区施設の再整備とあわせて本庁舎を見直せ。

**質問** 災害時の拠点機能を考慮した整備の必要性は認識している。

**災害復興から見る安全な人口規模** 行政規模に見合う安全な人口規模は、災害後の復興の視点で考えるべきだ。建ぺい率や容積率などの土地利用の数値を用いて区民の人口を調整する方法を検討せよ。

**質問** 適正な人口規模を念頭に置いた都市経営は重要と考えている。

**本庁舎整備の検討状況** 本庁舎の整備について議会での議論が始まったが、新庁舎の位置や改築か改修かなど、区の方針は何か決まっていらないものと認識している。区の見解を示せ。

**質問** 区としての方針は、幅広く区民の理解を得た上で策定したい。

上杉 裕之議員(民主連)

**建築基準法50条の活用** 建築紛争を防ぐには、地域の状況に合わない建築物を制限する細かいルールが必要だ。建築基準法50条を活用した制限をふやし、区民とのまちづくりを進めよ。

**質問** ルールづくりの調査研究とともに、50条の活用も検討する。

**福祉人材の確保に対する区の認識** 民間が運営する特養ホームや保育園などの福祉施設では、人材不足が深刻化しており職場崩壊が懸念される。福祉人材の確保が困難な状況への区の認識を示せ。

**質問** 深刻な問題であり、福祉職の魅力などを高めることも重要だ。

**公園整備の役割分担** 計画面積10ha以上の公園の整備は都の役割だ。身近な公園の整備予算を削ってまで区が厚年金スポーツセンターを取得し、公園として整備する理由を示せ。

**質問** 都による整備は困難であったため、区が整備することとした。

**桜井 稔議員(共産)**  
**賃貸物件情報提供サービスの拡充** 部屋探しに悩む高齢者などを支援する賃貸物件情報提供サービスは、週2日しか実施されず予約がとりにくい。実施日をふやすなど、需要に見合うよう拡充せよ。

**質問** 相談希望者の推移をとらえ、協力不動産団体とも相談する。

**生活保護世帯への灯油代の助成** 灯油代の異常な値上がりで低所得者の暮らしを直撃している。生活保護世帯に対する灯油代を助成する自治体が全国的にふえていくことを踏まえ、区でも助成せよ。

**質問** 生活保護費には、暖房に充てる費用が上乗せされている。

**住民合意に基づく地区計画の策定** 上馬、野沢地区の地区計画の策定では、区道拡幅への反対意見が多く住民合意は得られていない。地区計画検討案から道路拡幅を外し、住民主体の計画とせよ。

**質問** 生活再建などを沿道住民と十分話し合い、拡幅整備を進める。

羽田 圭一議員(社 民)

世田谷型福祉のまちづくりの推進

後期高齢者医療制度などの導入で国の社会保障制度が後退する中、区の福祉水準は確保すべきだ。世田谷型福祉のまちづくりの推進に向け、どう取り組むのか。

答弁 高齢者のケアハウス整備や障害者の就労支援の拡充を図る。

高齢者への住宅支援

ひとり住まいに不安を抱く高齢者が、終の住みかとしてケア付きの住宅を求めている。区は、介護と医療の一体的な支援について配慮のある住宅支援を目指せ。

答弁 関係部署が連携して高齢者の住宅施策を推進していく。

国分寺産線周辺の環境整備

緑の維持には湧水の保全など水環境の整備が不可欠だ。国分寺産線の緑の保護とあわせて、多摩川、丸子川を、水と緑に親しめる環境として一体的に整備せよ。

答弁 等々力溪谷の湧水や上野毛自然公園の整備に取り組み。

すがや やすし議員(民主連)

区内の医療機関情報の収集

関東中央病院の産婦人科の入院診療の突然の休止を新聞報道で知った。区民への影響を少なくするため、今後は事前の情報収集に努め、必要な働きかけを行え。

答弁 病院を管轄する都と連携し、情報収集と的確な対応に努める。

専門職による保育施設の巡回指導

発達障害を見きわめたり、配慮を要する子どもに対応することは大変難しい。保育施設の保育の質を確保するため、臨床心理士などを活用して巡回指導を行え。

答弁 専門職の活用を進めながら、保育の質の向上に努めていく。

今後の区立幼稚園のあり方

区立幼稚園から認定こども園に転換した園では入園希望者が増加した。待機児解消のため、区立幼稚園の預かり保育の拡充や認定こども園への転換を一層進めよ。

答弁 施設の有効活用を含めた区立幼稚園のあり方を検討する。

岸 武志議員(共 産)

バイオディーゼルの導入

区民の環境問題への関心を高めるには、成果が目に見える取り組みが有効だ。区でも廃食用油を回収してバイオディーゼル燃料として活用する取り組みを開始せよ。

答弁 バイオディーゼル燃料の望ましい活用用途などを研究する。

区内の第2次救急医療の現状

救急車を呼んでも、受け入れ先探しに時間がかかり過ぎたために死に至る事例が区内でも発生したと聞く。地域医療体制の改善に向け、区としても対策を講じよ。

答弁 救急医療への不安解消や相談事業の充実を都に要望した。

関東中央病院産婦人科休止の影響

関東中央病院が、医師の確保ができないという理由で産婦人科の入院診療を休止するとの報道があった。このことが区民に及ぼす影響について、区の認識を示せ。

答弁 今後の動向を注視し、都と連携して情報提供に努める。

菅沼 つとむ議員(自 民)

学校給食での地産品の活用

学校給食の安全性を確保するには、地産地消の一層の推進が重要だ。教育ビジョンに掲げる食育の推進に当たり、地産品や地元商店街の活用をどう進めるのか。

答弁 新たな地域内流通システムを活用し、地産地消に取り組む。

すべての地区会館へのAED設置

AEDの使い方を学ぶ機会がふえ、区民の意識は高まっているが、区民に最も身近な施設である地区会館への設置が進んでいない。すべての地区会館に設置せよ。

答弁 施設の管理者が常駐していない地区会館への設置は難しい。

駒沢給水塔の保存

駒沢給水塔は日本初の本格的な給水塔と言われ、現在も災害時の給水拠点として大切な役割を担っている。世田谷の貴重な近代遺産として都に保存を働きかけよ。

答弁 施設を所管する都の意向を踏まえ、積極的に対応する。

藤井 まな議員(民主連)

職場体験での自己負担への見解

中学生の職場体験は将来のために意義があるが、交通費は自己負担だ。受け入れ先までの距離の違いで負担の差が生じていることを区はどう受けとめているのか。

答弁 都の運営標準により自己負担としており、検討課題としたい。

地元に着用した職場体験の実施

中学生の職場体験の受け入れ先には区外企業や大手のチェーン店も多い。地元商店を支援し、地域振興につなげるためにも、地元に着用した職場体験を検討せよ。

答弁 地元事業者や学区内の事業所で実施できるよう工夫する。

メディアリテラシー教育の推進

携帯電話やインターネットの普及などではならんする情報から、子どもが自己を守る力を育てるべきだ。メディアを読み解く力を身につけさせる教育に力を注げ。

答弁 指導方法や教材の開発、教員研修の充実などを行い推進する。

西村 じゅんや議員(民主連)

市内でのペーパーレス化の推進

省資源化を進めるために、市内の紙の使用量を削減すべきだ。社会全体におけるICT化の進展に伴い、区も資料の電子化などによりペーパーレス化を推進せよ。

答弁 両面コピーや裏紙利用、市内通知の電子化などを進めている。

古紙パルプ配合率偽装への対応

食品偽装を初め、多くの業界で偽装問題が発覚する中、製紙メーカーによる古紙パルプ配合率偽装問題が起きた。市内の再生紙の取り扱いなど今後の対応を示せ。

答弁 発注方針を市内周知しており今後は国の動向を見て対応する。

事業者への文書リサイクルの啓発

区内事業者の文書リサイクルを促進すべきだ。機密文書についてもリサイクルに適さないシュレッダー処理から溶解処理に転換するよう、事業者を一層啓発せよ。

答弁 溶解処理を含めた取り組みを、事業者に働きかける。

ひうち 優子議員(民主連)

区立中での給食選択制の導入

学校での昼食を生徒自身が選ぶことは、栄養バランスや食材について考えるきっかけとなる。食育の観点からも有効な学校給食の選択制を区立中に導入せよ。

答弁 先進的な事例も研究しながら学校給食の質の向上に努める。

区立図書館の視聴覚ソフトの充実

区立図書館でのCDやDVDの提供には多くの区民ニーズがある。書籍の充実に加え、区にゆかりのある映像作品なども備え、視聴覚分野の資料の充実を図れ。

答弁 他自治体の例も参考にしながら、今後、研究を進めていく。

区立図書館への出張所機能の導入

区立図書館で住民票や印鑑証明書の発行などを行えば、働く人へのサービスが向上し、来館者の増加も見込まれる。区立図書館への出張所機能の導入を検討せよ。

答弁 出張所機能の充実については、出張所改革の中で進めている。

杉田 光信議員(公 明)

烏山福祉園へのエレベーター設置

烏山福祉園の2階に上るには一度外へ出なくてはならない上、階段の傾斜も急で不便だ。今後の利用者増加に対応するためにも早急にエレベーターを設置せよ。

答弁 多角的に検討したが、さまざまな課題があり困難だ。

農業経営者への支援

農業経営者が親から農地の相続を受ける場合、多額の相続税を支払うために農地を手放す例が多い。区は、区内農地を守るため、農業経営者の支援を行え。

答弁 相続税納税猶予制度などの改善について国や都に要望する。

介護職員の就労環境の整備

介護職場は賃金が低く、介護保険で提供できるサービスに制約も多いため、職員が定着しない。現場の職員が希望を持って働き続けられる環境づくりに取り組め。

答弁 引き続き、福祉人材育成・研修センターなどで支援していく。

村田 義則議員(共 産)

玉川地域の汚水管の漏水対策

玉川地域では、宅地内の汚水管と雨水管の誤接合が原因で、大雨の際に汚水管が溢水し汚物が道路に流出する被害が出ている。早急に解決するよう都に要請せよ。

答弁 下水道事業の一環として改善を図るよう都に強く申し入れる。

汚水管と雨水管の誤接合の解消

玉川地域での汚水管と雨水管の誤接合が長年解消されない原因は、工事費用が個人負担であるところが大きい。早急な解決を図るため、区独自の策を検討せよ。

答弁 雨水浸透ますの設置助成制度などを活用し、対策に取り組む。

廃プラスチック焼却に対する懸念

CO2排出量の大幅な増加が予想される廃プラスチック焼却は、区の地球温暖化対策に明らかに逆行する。焼却によって新たに排出される区内のCO2量の試算を示せ。

答弁 清掃一組の資料から推計すると、18年度で約3万5000tである。

山木 きょう子議員(生 生)

消費生活課の体制強化

中国製食品の問題を初め、多くの消費者被害が問題となっており、消費者行政の強化が重要だ。的確に対処できる人材の育成など、消費生活課の体制強化を図れ。

答弁 これまで培った取り組みを充実し、消費者行政を推進する。

学校支援員のさらなる増員

区は特別支援教育の学校支援員を増員したが、学校数に対しては依然不十分だ。一人ひとりのニーズに応じたきめ細かい教育の実現に向け、一層の増員を図れ。

答弁 今後も学校への支援体制を強化し、特別支援教育を推進する。

配慮を要する子どもへの支援体制

配慮を要する子どもを早い時期から継続的にケアする環境づくりが重要だ。特別支援教育では、幼児期から学校卒業までを円滑かつ一貫して支援する体制を整えよ。

答弁 子ども部と教育委員会との連携で継続的な支援体制を整える。

木下 泰之議員(無党派)

小田急線の下北沢跡地利用計画

下北沢の小田急線地下化後の上部利用可能面積は、複々線部も含む2万7000㎡であると区は先の議会でも認めた。正しい認識のもと上部利用計画を抜本的に改めよ。

答弁 上部利用方針をもとに、住民意見も聞き関係機関と協議する。

小田急線の環7鉄道橋の再整備

平成12年の都の小田急線連立事業基礎調査報告書には、環7上部鉄道橋は歩道橋に再整備と明示されている。都とともに責任を持って歩道橋の整備実現に努めよ。

答弁 環7上部の歩行者の安全性などの改善要望は承知している。

高すぎる絶対高さを放置するな

道路の拡幅及び新規計画がある場合、高度地区の絶対高さ制限45m・30mは高層誘導となる。旭小周辺など地区計画策定の際には、現行街並み維持を原則に規制せよ。

答弁 制限の設定は住民意見を聞き周辺状況を勘案し区が判断する。

小畑 敏雄議員(自 民)

住み続けたい世田谷の実現

環8付近やその以西ではマンションの建設が相次ぎ、緑の喪失が危惧される。豊かな緑のある住み続けたい世田谷の実現に向けた取り組みを強化せよ。

答弁 自然環境とバランスの取れた総合的なまちづくりを進める。

建物の絶対高さ制限の見直し

区が16年に設けた建物の絶対高さの制限は、十分な内容とは言えず、建設事業者と住民とのトランプルが絶えない。各地域の特性に応じたきめ細かな制限を定めよ。

答弁 さまざまな都市計画の手法により地域のまちづくりを進める。

道路上の違法駐車対策

違法駐車が原因の交通事故で、道路管理者の損害賠償責任を認めた判例がある。警察が取り締まる区道においても、区がみずから早急に実効性ある対策を講じよ。

答弁 警察との連携を一層強化し、違法駐車対策に取り組む。

高橋 昭彦議員(公明) 母子家庭の自立支援策

全国的母子家庭の平均年収は全世帯の平均の4割にも満たない上、雇用不安を抱えている母親が多い。安定した生活ができるよう、区は自立支援策を講じよ。

答弁 母子自立支援プログラム策定を配置し支援体制を強化する。

米飯給食の完全実施

給食は、健康的な食習慣を身につける上で重要な教育活動だ。油や砂糖の多い給食が子どもの将来の健康に影響を及ぼすことを考え、米飯給食の完全実施を目指せ。

答弁 米飯給食の役割の重要性は認識しており、一層推進していく。

動物との共生

動物の小さな命を尊重できる社会であることが大切だ。区が2月に開始した飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用の助成事業について、意義と目的を示せ。

答弁 動物愛護の精神を高めつつ、猫に対する苦情にこたえることだ。

岡本のび子議員(公明) 図書館サービスの充実

図書館を区民に役立つ情報発信の場として改革すべきだ。図書館司書が書籍案内を行うなど、区民の調べ学習を支援するレファレンスサービスを一層充実せよ。

観光都市としてのまちづくり

大きな産業のない区として、将来を見据え、観光都市としての基盤を整備することが必要だ。都の事業を活用し、歴史あるボロ市のにぎわいの拡大などに取り組め。

答弁 区内の魅力ある行事を観光の観点でとらえ事業を組み立てる。

128号線を活用した南北交通の整備

桜地区には交通不便地域が存在し、高齢者や障害者の移動が困難だ。補助128号線の事業の完了を機に、経堂駅〜用賀駅など南北のバス交通網の整備を推進せよ。

答弁 事業者と連携して、バス交通ネットワークの充実に取り組む。

吉田 恵子議員(生) NPOなどの活動の場の確保

NPOなどの市民団体にとって、活動の場の確保は重要だ。イベントなどに限らず定例的な活動にも区施設の使用料の減免制度が適用されるよう、基準を見直せ。

答弁 公平性確保の観点から、今後も現在の基準に基づき対応する。

発達障がい児に接する職員の育成

区は21年度に発達障がい児の専門的療育を行う発達・発育センターを開設する。適切な療育を進めるため、直接子どもに接する職員のスキルアップに取り組め。

答弁 幼稚園や保育園職員を対象に専門研修やセミナーなどを行う。

京王線の駅周辺の環境整備

京王線の駅舎や駅構内のユニバーサルデザイン化に合わせて、駅周辺の整備を進めるべきだ。段差解消工事などへの助成制度を周知し、店舗ごとの取り組みを促せ。

答弁 事業者の意識啓発や助成制度の周知を積極的に図る。

中塚 さちよ議員(民主連) 歩行者優先のまちづくり

改定中の交通まちづくり基本計画の素案に対し、車中心の案だという声がある。国のくらしのみちゾーンの制度などを活用し、歩行者優先のまちづくりを進めよ。

下北沢駅の交通広場の活用

国の規制緩和が進み、道路空間を収益活動や通行者の休息の場などに使えるようになった。整備予定の下北沢駅の交通広場を地域交流の場として活用せよ。

答弁 地元の意見を聞きながら地域貢献できる利用方法を検討する。

福祉移動サービスの担い手の育成

福祉移動サービスを行うNPOでは、仕事に対する運転手の認識と利用者が求めるサービスにギャップが生じている。サービスの担い手の育成に支援策を講じよ。

答弁 福祉移動支援センターなどと連携し担い手の育成に取り組む。

山口 ひろみ議員(自民) 私立幼稚園の預かり保育の拡充

施設の有効活用や仕事と子育ての両立支援の観点から、私立幼稚園の預かり保育を拡充すべきだ。幼保一元化の一層の推進に向け、より多くの園での実施を促せ。

答弁 園の方針や保護者のニーズを踏まえ、実施に向けて支援する。

大井町線急行運転に伴う安全対策

大井町線の急行運転の開始が目前に迫ったが、安全性への地元住民の不安に対する東急電鉄の誠意ある対応が見られない。安全対策の徹底を今後も強く要請せよ。

答弁 地元の十分な理解を得るよう、改めて強く指導していく。

災害時の飲料水の確保

災害時の飲料水の確保は、被災者の生命を維持するための基本だ。飲料メーカーと災害時の飲料提供の協定を結ぶなど、より安心できる対策を講じよ。

答弁 協力を得られる民間団体などとの協定の締結を検討する。

青空 こうじ議員(無所属) 地域の健康づくり活動への支援

退職した世代の健康増進を図るため、身近な場所で運動する機会を充実すべきだ。地域活動に参加するきっかけとなる地域の健康づくり活動を一層支援せよ。

地域のスポーツ活動の支援

区内のスポーツ人口の増加は地域住民のネットワークづくりにもつながる。区内の私立や都立の学校に施設の開放を働きかけ、地域のスポーツ活動を支援せよ。

答弁 区内大学などと連携を深め、場の確保など環境整備に取り組む。

スポーツ振興のあり方

スポーツの世田谷の実現を目指すし、区民の視点に立った取り組みを進めるべきだ。健康づくり部門などとの連携を図り、世田谷らしいスポーツ振興策を打ち出せ。

答弁 横断的な情報交換や事業実施の相互協力など連携を強化する。

上川 あや議員(虹) 人工肛門・膀胱使用者の器具負担

人工肛門、人工膀胱使用者(オストメイト)の排泄物をためる器具の給付で区が求める自己負担額は重く、都内最悪のケースも。負担ゼロの他区も参考に直直せ。

答弁 国の障害者自立支援法の見直しに合わせて検討する予定だ。

災害時のオストメイトへの備え

阪神淡路大震災、中越地震では、被災したオストメイトの方々に器具が行き渡らず大変な苦労があった。器具の備蓄や簡易型対応トイレの整備に取り組むべきだ。

答弁 備蓄への課題整理やトイレ利用の際の配慮など、対応を図る。

健康保険証の裏をドナーカードに

内閣府の最新調査で脳死時、「臓器提供したい」とした割合は4割を超え過去最高となっている。国民健康保険証の裏面に意思表示欄を設けるなど工夫できないか。

答弁 意思表示するための備考欄などの設定は十分な検討が必要だ。

下山 芳男議員(自民) スポーツ振興の取り組みの強化

スポーツの世田谷を区民に一層浸透させるため、人口に見合う体育施設を確保すべきだ。策定中のスポーツ振興計画に、施設の充実や地域偏在の解消を盛り込め。

商店街へのさらなる支援

商店街は区民の暮らしや安心を支える役割も担っており、区はその発展を図るべきだ。商売繁盛施策を商店主とともに研究し、各店の経営基盤の強化を支援せよ。

答弁 商店街経営学校の設立など、さまざまな支援施策を展開する。

区内産業の育成

商店街や地元事業者の減少を食い止め地域間格差の広がりを防ぐ上でも、地域での雇用の拡大が重要だ。地域の中で求職と求人の需要が満たされる方を講じよ。

答弁 区内産業の継続に実効性ある施策を拡充し、雇用拡大を図る。

鈴木 昌二議員(自民) 障害者への就労支援の充実

障害者の就労支援を一層充実すべきだ。福祉作業所からの一般就労は無理だと決めつけず、一般就労に挑戦できる障害者には本人に合ったきめ細かな支援を行え。

答弁 福祉作業所など計10カ所で就労移行支援事業を実施する。

成年後見制度の普及

知的障害者などの権利を守る成年後見制度の利用が進んでいない。障害者が親亡き後も地域で自立した生活を送るためにも、制度の周知と普及に努めよ。

答弁 障害者や家族への相談支援体制を充実し、制度の浸透を図る。

障害者の自立生活を支える仕組み

障害者が住みながら地域で暮らせるよう、暮らしの場の確保に加え生活支援体制の構築も進めるべきだ。暮らしの場の確保検討委員会での議論の内容を示せ。

答弁 障害者の自立生活を支える機能の必要性にも言及している。

石川 征男議員(自民) みどり33の実現の方策

緑がふえることをだれもが望み期待しているが、区が率先して緑地整備などを進めるだけでは限界がある。区民や事業者と協働し民有地の緑の保全にも力を注げ。

地域風景資産の選定の推進

世田谷らしい風景をつくり上げていくためには、地域住民による風景づくり活動が不可欠だ。区が実施している地域風景資産の選定を通じ、活動を盛り上げよ。

答弁 これまでの選定の成果を踏まえ、風景づくり活動を支援する。

砦地域の防災拠点の整備

大地震の発生が危惧される中、災害に強い公共施設づくりが急務だ。政策中の砦支所と砦区民会館は、地域の防災拠点としての機能を十分に備えたものとせよ。

答弁 非常用発電の備えや、応急対策拠点としての機能を充実する。

平塚 敬二議員(公明) 高齢者の住宅確保への支援

高齢者が公営住宅だけで住宅を確保することは難しい状況だ。民間賃貸住宅への入居支援や居住支援住宅認証制度の普及に努め、積極的に住宅確保を支援せよ。

答弁 新たな民間賃貸住宅の供給誘導策を検討していく。

防火水槽の整備に向けた働きかけ

区内では防火水槽が不足している地域があり、消火活動に支障がある。設置義務のない小規模な集合住宅の建てかえの際などにも設置するよう働きかけよ。

答弁 庁内の関係部署や消防署と協力し、整備が進むよう努める。

災害時のマニュアルの作成支援

区が災害時協力協定を結んでいる世田谷ボランティア協会では、災害時のマニュアルを作成中だ。災害時の迅速な対応に向けて、マニュアルの早期完成を支援せよ。

答弁 区職員もマニュアル作成に協力し、年度内に完成する予定だ。

重政 はるゆき議員(民主連) 減税構想への見解

区政の安定的経営には、予算使い切り体質の改善と長期的視野が重要だ。公金の一定割合を積み立て、将来減税するという考えがあるが、区としての見解を示せ。

一般競争入札の適用範囲の拡大

次期の行政経営改革計画では、入札における競争性向上を目標として挙げながら、具体策として一般競争入札の適用範囲の拡大には言及していない。理由を示せ。

答弁 当区にふさわしい条件を十分検討し、入札制度改革を進める。

学級崩壊の現状

初等中等教育の重要性は十分認識されているところであり、学級崩壊により児童生徒が混乱するような状況はあってはならない。区立校での学級崩壊の件数を示せ。

答弁 授業成立が困難となり対応した事例は、19年度中15件あった。

# 意見の党派

予算委員会での質疑・要望や、本会議で表明された20年度予算に対する各党派等の意見の一部を要約してお伝えします。

## 本会議での意見表明者

- 自由民主党世田谷区議員……川上 和彦議員
- 公明党世田谷区議員……平塚 敬二議員
- 民主党・無所属連合……上杉 裕之議員
- 日本共産党世田谷区議員……里吉 ゆみ議員
- 生活者ネットワーク世田谷区議員……山木きょう子議員
- せたがや政策会議……田中 優子議員
- 社会民主党世田谷区議員……唐沢としみ議員
- 無党派市民……木下 泰之議員
- レインボー世田谷……上川 あや議員
- 無所属……青空こうじ議員

## 行財政改革を一層推進し 新たな発想で区政を発展させよ

### 自由民主党世田谷区議員

(賛成意見)

20年度予算は、熊本区政2期目の初の予算であり、安全安心のまちづくりを継承しつつ、みどり予算と称するほど、我が党が訴えてきた環境対策に重点を置いた予算だ。みどりは、大都市東京における世田谷の特性であり、後世に残すべき財産だ。また、生態系を守り、観光政策として区発展を支える源にもなる。みどり33の実現に向け、守りから攻めのみどり政策へと転換し、区民、事業者、行政が一体となって取り組め。

一方で、環境対策には多くの財源が必要だ。引き続き官から民への視点で行財政改革を推進し、財源確保に努めよ。また、みどりのトラスト基金の有効活用などにより、工夫を凝らした事業展開を図れ。さらに、新エコライフ大作戦のさらなる展開や環境に優しい道路整備、学校エコ改修などによる環境負荷の軽減に一層取り組み。以下、具体的な施策について意見を述べる。

本庁舎の整備問題では、改築の優位性は認識しているとの区心の強い答弁があったが、とらえ方の違う数値を用いて改修を主張する党派もある。今後行う本格的な区民説明会では、正確な情報のもとで十分な意見交換を行い、早い時

期に一定の判断を示せ。そして、次の段階として審議会などを立ち上げ、具体的な取り組みを進めよ。

近年、区内産業は厳しい状況にある。こうした中、20年度から産業ビジョンがスタートする。公共的な役割を担う商店街への支援や都市型農業の推進、住工共生型まちづくりの推進など、ビジョンに掲げた新たな視点での多様な取り組みを着実に進め、区内産業の衰退に歯止めをかけよ。また、当予算に盛り込まれた商店街への防犯カメラやAEDの設置促進などを早期に実施せよ。

保育待機児解消に向けた100名の受け入れ枠の拡大計画が20年4月に達成されることは、評価するが、保育待機児の解消には至っていない。そこで、区は、認証保育所への新たな補助制度などの活用も視野に入れ、23年までに100名の受け入れ枠の拡大を決めた。民間の力を最大限に生かした取り組みを期待する。また、在宅子育て支援となる子育てステーションやほっとステイの整備を一層進めよ。

20年度から後期高齢者医療制度が始まる。混乱が生じないように、区民に対して丁寧に対応せよ。また、議会の決議を踏まえて20年度予算に低所得者に配慮した施策が多く盛り込まれたことを評価する。小田急線連立事業が進む中、今定例会で補助54号線と区画街路10号線の道路認定が可決された。これを契機に、下北沢のまちづくりを一層進めよ。また、今後の鉄道上部利用での新たな歩道や環7上の歩道橋の設置を検討することを要望する。さらに、ユニバーサルデザイン視点でのまちづくりの推進や地域の声を踏まえた公園づくりなどに積極的に取り組め。

教育では、40年ぶりに授業時間をふやすなどの転換期の中で、区は教育ビジョン第2期行動計画を策定した。教育はすべての原点であり、日本を支える基盤となる。学校現場の体制強化や教員の資質

向上に努めよ。さらに、教育環境の整備のための学校の適正規模化や適正配置に早期に対応せよ。

スポーツの世田谷の実現に向け、さらに積極的な取り組みを行え。国における道路特定財源問題に對しては、区民生活への影響を踏まえて対応するよう要望する。最後に、区政への評価は、職員一人ひとりの資質によるところが大きい。区の職員であることに誇りを持ち、適正な事務執行を行え。



## 区民の視点を一層重視し 区政運営を改善せよ

### 民主党・無所属連合

(賛成意見)

区はこれまで、区債残高を減らして積極的に基金を積み立ててきた。また、行財政改革によって生み出した財源をさまざまな施策に充当してきた。さらに20年度は、障害者サービスの利用者負担の見直しや障害者施設の運営水準の維持、特別支援教育施策や高齢者施設の充実などを図る予定だ。これらの取り組みを評価する。

しかし、解決すべき課題は山積しており、引き続き区民の視点を重視して区政運営に当たる必要がある。以下改善すべき点を述べる。我が党派は20年度の予算編成に対し、改革による歳出削減プランと予算に反映すべき最重点項目を予算要望として区に示した。しかし、要望の提出時期には既に予算案の詳細が固まっており、要望は十分反映されなかった。予算要望の受け取り時期を早め、議会の要望を勘案した上で予算編成を行え。

予算特別委員会は、予算案を見きわめ、必要に応じて修正案を提示する建設的な審議の場とすべきだ。審議が形骸化しないよう、修正案を提案しにくい日程を改めよ。また、質問に対して区が答弁する際は、理由や背景を十分説明せよ。基金の運用に当たっては、経営感覚を持って臨め。

保育待機児は、区の受け入れ枠拡充計画では解消できない。計画を改善し、補正予算に反映せよ。区が民間法人に事業委託している子どものシヨトステイで、幼児の死亡事故が起きた。区の直営の事業ではなくても、保護者には誠意を持って対応せよ。また、委託事業の危機管理のガイドライン策定や責任体制の明確化を図り、安全な事業運営を支援せよ。

障害者や介護の必要な高齢者がいる家庭に過重な負担がかかっている。区独自の負担軽減策を講じるなど積極的な対応を図れ。特別会計は、他会計からの繰り入れに頼るな。

二子玉川の再開発事業では、公金を投入している区として責任を持って再開発組合を指導し、住民が納得できるよう、説明を行え。下北沢のまちづくりでは、道路や広場の安全性について詳細に検討するとともに、まちの魅力を最大限に引き出せ。また、区のまちづくりの進め方に対して住民が強い不信感を持っていることを認識し、幅広く区民の声に耳を傾けて信頼回復に努めよ。

厚生年金スポーツセンターの取得のために今後2カ年で160億円もの巨額の資金を投入する。取得後の経営計画や現在働いている職員の身分の扱い、区民と区外利用者との負担のあり方、区職員の天下り先とならないのかなど、区民のあらゆる疑問に答えよ。

## 区の自己満足ではなく 区民の美感を伴う区政運営を行え

### せたがや政策会議

(賛成意見)

公務員全体への信頼が揺らいでいる今こそ、区民から見えやすい形で事業を執行することが必要だ。区は20年度予算をみどり予算と位置づけた。みどり率の向上に向け、緑がふえたと区民が実感できる仕組みをつくり、区民と一体となって取り組め。

地域で子どもを育てる方針を堅持し、教科日本語など区独自の教育施策を引き続き推進せよ。まちづくり出張所の体制を強化し、あんしんすこやかセンターや児童館と併設するなど、地域のまちづくりの環境整備に取り組み。狭あい道路の解消や放置バイク対策など、区政の課題には関係部署が一丸となって早急に取り組め。

新型インフルエンザの世界的大流行を指すパンデミックフルーが心配されている。区は区民への情報提供など、直ちに対策を講じよ。

世田谷型福祉のまちづくりを最優先課題とし、区民の立場に立つて施策を進めよ。地球環境を守るため、廃プラスチックの6割資源化に全力を挙げよ。災害対策基金の活用では、生活再建の視点を重視せよ。高齢社会を意識した商店街振興や、都市農業の保全を図れ。再開発では、住民の声を真摯に受けとめよ。教育環境の整備にも積極的に取り組め。区民との協働の推進に向け、地域活動への若い世代の取り込みや情報共有に努めよ。施策の充実に見合う人員を確保し、総力を挙げて区政運営に当たれ。

## 真の環境重視型区政に転換せよ 無党派市民

(反対意見)

下北沢を破壊する補助54号線や駅前ロータリー、大規模開発を許す環境破壊予算に反対する。緑を真剣にふやす気ならば、小田急線地下化後跡地の緑化に力を尽くせ。学校の耐震調査結果の秘匿は人命にかかわる重大な問題だ。秘匿に加担した区長は安全安心を語るな。

## 奉仕者としての姿勢を思い出せ

### レインボー世田谷

(賛成意見)

区民の陳情の表題を偽って議員に説明した不誠実な対応を区は猛省せよ。区民の困り事には区が柔軟に対応すべきであり、国や都に頼る姿勢を改めよ。的確に実態を把握し、常に当事者の立場で物事を考えよ。区民に対する奉仕者としての基本姿勢を決して忘れるな。

## プロの職員としての誇りを育めよ

### 無所属

(賛成意見)

区民にとって大切な予算の執行に携わる区職員は、区民サービスを最優先するプロ意識や倫理観を備えているべきだ。職員は、後輩を育てることもみずからの大きな役割と認識し、区の職員であることを誇りに思う遺伝子を日々の仕事を通じて受け継ぎ、育てよ。

## 本文中で使用している省略表記

- 地域政策部長 地域情報政策担当部長
- 環境対策室長 環境総合対策室長
- 介護予防部長 介護予防担当部長
- 保健所長 世田谷保健所長
- 子育て部長 子育て政策担当部長
- 当部長
- 交通政策部長 交通政策担当部長
- 土木事業部長 土木事業担当部長
- 教育改革部長 教育改革担当部長
- 生涯学習部長 生涯学習・地域・学校連携担当部長
- 支所 総合支所
- 清掃一組 東京二十三区
- 清掃一部事務組合

# 20年度予算



予算特別委員会の質疑の模様をホームページで生中継・録画中継しています。  
<http://www.city.setagaya.tokyo.jp/kugikai/>  
**議会中継**をクリック!

福祉施策を一層充実し  
 安心して暮らせるまちを目指せ

公明党世田谷区議員

(賛成意見)

ガソリン税の暫定税率の問題に始まり、国会情勢は混沌としており、国民生活を混乱させないためには、党利党略の政治ではなく、国民の幸せを第一に考える人間主義の政治を行うことが重要だ。

一方で、区の20年度予算額は、一般会計が2354億円と、19年度と比べ89億円の増額となった。しかし、景気回復基調の中で税収がふえても、決して油断できる状況ではない。今後とも継続して行財政改革に取り組み。

区が進めている少子化対策や子育て支援の強化、我が党が主張してきた妊婦健診の公費負担回数14回までの拡大、子どものインフルエンザ予防接種補助制度の創設、認証保育所の保育料の負担軽減など、大胆な区政のかじ取りを高く評価する。また、安心して住み続けられる安全安心の世田谷の実現のための基盤整備や、環境対策への意気込みを示したみどり33への取り組みなどに区長の思いが感じられる。今後も、中長期的展望したためり張りのある予算編成を行うことを要望する。

以下、今後の世田谷を展望した上で特に大切な課題について意見を述べる。

第1に、保育サービス待機児童ゼロに向けた取り組みを一層強化すべきだ。区は23年までに110名の受け入れ枠を拡充する計画を立てている。この計画を確実に進めるため、認可保育園と認証保育所の拡充とともに、保育室や保育ママの定員枠の拡大に早急に取り組む。第2に、高齢者福祉の充実が重要だ。高齢者が笑顔で安心して暮らし続けられるまちなの実現に向け、

84万区民を擁する先進自治体として、高齢者福祉の都市型モデルの形成につながるよう、施策を充実せよ。また、在宅高齢者施策を支える根本は人だ。福祉や介護の職場で働く人の生活設計を可能にするための区独自の支援策を講じ、人材確保に努めよ。さらに、区民にとつての福祉の窓口であるあんしんすこやかセンターと、地域行政制度の核となる出張所のあり方を再検討すべきだ。公共施設の建てかえや合築の機会をとらえ、高齢者を守る核としての機能を十分に発揮できるよう、両施設の一体化を進めよ。加えて、都立梅ヶ丘病院の跡地利用方法の検討に着手すべきだ。福祉のまちづくりのモデル地域としての梅ヶ丘の特性を生かし、老人保健施設やケアハウスの誘致、総合福祉センターの機能拡充などを行い、世田谷の保健、医療、福祉の中心地として整備せよ。また、既存住宅への住宅用火災報知器の設置が義務化される。確実な普及に向けた、負担のあり方などを早急に検討せよ。

自治体本来の責任を果たし  
 区民の暮らしと福祉を守れ

日本共産党世田谷区議員

(計には反対、その他の会計には賛成する意見)

格差と貧困の拡大が大きな社会問題となる中、熊本区政は行財政改革の名のもとに福祉サービスを切り捨て、低所得者に苦しい生活を強いている。さらに、後期高齢者医療制度の施行が高齢者の生活を一層圧迫する。また、認可保育園や特養ホームを増設しなかったことで、多くの待機児童や待機者を生み出した区の責任は重大だ。環境対策では、CO<sub>2</sub>削減目標の達成に向けた具体的な取り組みがないまま、CO<sub>2</sub>の排出量を増大させる廃プラスチックの焼却を進める。さらに、緑の確保を重点施策に掲げてはいるが、公園用地取得のための予算を減らし、民有地の開発規制の具体策も示していない。一方で、道路整備と大規模開発に多額の予算をつぎ込んでいく上、総額64億円もの基金をため込んでいる。庁舎問題では、耐震性能も確保されており、建てかえの必要はない。本庁舎は改修して長く使うべきだ。これらを踏まえ、以下を要望する。

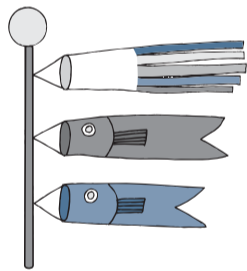
最後に、地域とともに子どもを育てる教育を推進するには、区立校の適正規模と適正配置を考えることが重要だ。都市型開発による児童生徒数の偏在化が進む中、教育ビジョンとの整合性も考慮し、地域の中での区立校の位置づけを明確にせよ。また、いじめや不登校の問題を抱える子どもの教育の機会を拡充するため、ほっとスクールの機能充実や増設に取り組む。

低所得者への負担軽減策として、住民税の減免や就学援助を拡充せよ。特養ホームや認可保育園を増設せよ。CO<sub>2</sub>削減に向け、実効性ある対策や積極的な目標を掲げた計

画の策定を行え。建物の絶対高さのさらなる制限や民有地の開発を規制する有効なルール確立により、真に緑と環境に配慮したまちづくりを進めよ。区内の商店街や中小企業の支援策を充実せよ。



駒沢給水塔 (弦巻2丁目)



区民本位の区政運営を進め  
 区民主体のまちづくりを再建せよ

生活者ネットワーク世田谷区議員

(賛成意見)

社会状況が大きく変化する今こそ、基本構想に掲げた区民主体のまちづくりが一層重要となる。再開発事業では住民の声を真摯に受けとめ、協議する姿勢を重視せよ。みどり率33%の実現は区の取り組みだけでは困難だ。緑化の構想を示し、区民とともに取り組む。災害対策基金の設置を評価する。基金の積み立てを進め、被災後の生活再建の支援体制を整えよ。

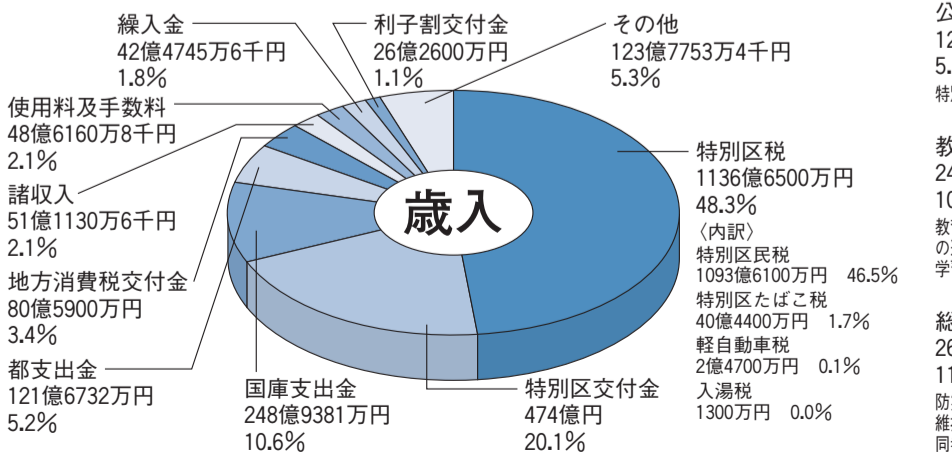
高齢者の在宅生活を一層支援すべきだ。在宅医療の充実への取り組みや福祉人材の確保に力を注ぎ、男女共同参画社会の実現に向け、育児休業を取得しやすい職場づくりを区が率先して行え。また、保育サービス待機児童の解消では、受け入れ枠の充足のみにとられず、質の確保を重視して取り組み。子どもの生きる力を伸ばすため、多様な学びの場を確保せよ。配慮を要する子どもへの支援も進めよ。環境施策を効果的に進めるため、事業のコストと得られた効果を測定する環境会計の導入を検討せよ。また、安全性に不安が残る廃プラスチックの焼却はやめ、資源化に最優先に取り組む政策に転換せよ。

画の策定を行え。建物の絶対高さのさらなる制限や民有地の開発を規制する有効なルール確立により、真に緑と環境に配慮したまちづくりを進めよ。区内の商店街や中小企業の支援策を充実せよ。

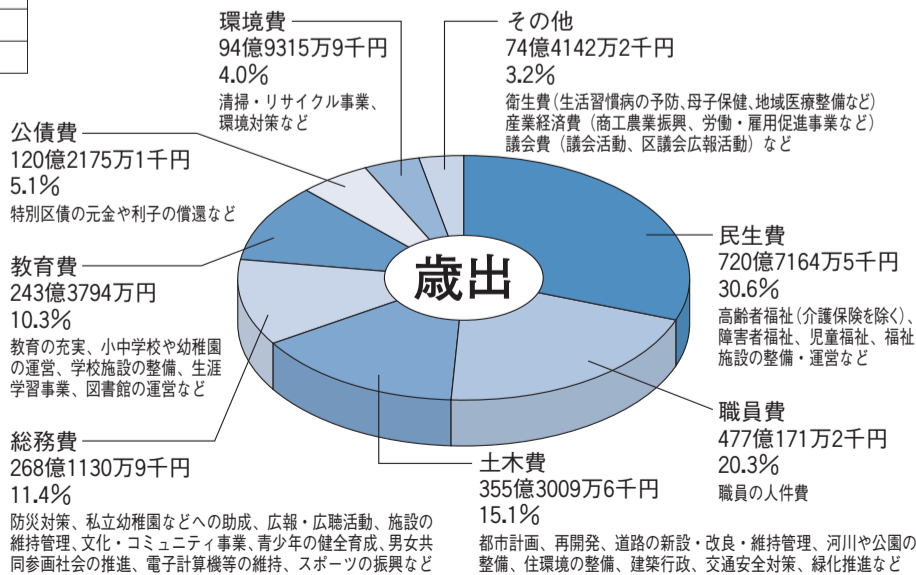
## ●平成20年度各会計予算●

内 容	対前年度比伸び率 (%)
一 般 会 計	2354億 903万4千円 4.0
国民健康保険事業会計	780億7720万5千円 0.9
後期高齢者医療会計	151億3248万7千円 皆増
老人保健医療会計	62億3236万6千円 -89.3
介護保険事業会計	403億7745万5千円 4.1
中学校給食費会計	2億1410万7千円 2.1
計	3754億4265万4千円 -6.4

### 一般会計予算の内訳 (%=構成比)



## 平成20年度 予算のあらまし



# 第2回定例会は6月に開催する予定です。

（1ページからの続き）

- 身近な広場条例（全員賛成）  
九品広広場を奥沢7-41-50から奥沢7-34-6に移転。
- 環7沿道地区計画区域内の建築物制限条例（全員賛成）
- 環8沿道地区計画区域内の建築物制限条例（全員賛成）
- 以上2件は、既存不適格建築物の用途を変更する場合の制限の緩和の規定など。

- 地区計画区域内の建築物制限条例

賛成多数 賛成：自民、公明、民主連、生、政策、社民、虹、無所属  
反対：共産、無党派

- 既存不適格建築物の用途を変更する場合の制限の緩和の規定や経堂駅東地区地区整備計画区域の追加など。
- 公営住宅管理基金条例

賛成多数 賛成：自民、公明、民主連、生、政策、社民、虹、無所属  
反対：共産、無党派

- せたがやラスト基金条例（全員賛成）
- 以上2件は、基金の名称及び目的の変更。
- 区営住宅管理条例（全員賛成）
- 特定公共賃貸住宅条例（全員賛成）
- 高齢者借上げ集合住宅条例（全員賛成）

以上3件は、暴力団員を居住させないための規定を設けることなど。

○学校設置条例（全員賛成）  
学校教育法の改正によるもの。

- 文化財保護条例（全員賛成）  
登録文化財制度の導入や指定文化的景観の規定の追加など。
- 保健所使用条例

賛成多数 賛成：自民、公明、民主連、生、政策、社民、虹、無所属  
反対：共産

- 使用料の算定根拠の変更。
- 梅丘中学校耐震補強工事（全員賛成）

賛成多数 賛成：自民、公明、民主連、生、政策、社民、虹、無所属  
反対：共産、無党派

- 梅丘中学校耐震補強工事（全員賛成）  
相手方株式会社カトウ・デーシー 契約金額一億九千九百七十五万二千五百円  
工事概要：校舎棟の耐震補強（鉄骨ブレース、鉄筋コンクリート増設壁、鉄筋コンクリート増し打ち壁、開口閉塞、耐震スリットなど）
- 指定管理者の指定（全員賛成）

賛成多数 賛成：自民、公明、民主連、生、政策、社民、虹、無所属  
反対：共産

施設名称	指定管理者
烏山中央自転車等駐車場	株式会社アイビーマネジメント

- 特別区人事・厚生事務組合規約変更（全員賛成）  
共同処理する事務の変更。
- 東京都後期高齢者医療広域連合規約変更（全員賛成）  
保険料の軽減策を規定。

○特別区道路線の認定（全員賛成） 9件

所在地	延長(m)
桜上水3-23-24	158・51
船橋1-1-8・9	101・12
鎌田3-11、1-20	47・53
粕谷2-8・9・10	164・59
上北沢1-31・36・32	100・78

賛成多数 賛成：自民、公明、民主連、生、政策、社民、虹、無所属  
反対：共産、無党派、無所属

所在地	延長(m)
北沢2-8・9	265・04
北沢2-9・10	32
北沢2-10・11	24
北沢2-12	12
北沢2-19	25
北沢2-20	11
北沢2-25	32
北沢2-32	20

賛成多数 賛成：自民、公明、民主連、共産、生、政策、社民、虹、無所属  
反対：無党派

所在地	延長(m)
成城8-25・26	73・65
大蔵5-7・8・9	10・13・4
大蔵5-10・13・4	645・33

賛成多数 賛成：自民、公明、民主連、生、政策、社民、虹、無所属  
反対：共産

- 人権擁護委員候補者の推薦（全員賛成） 1件  
次の候補者を法務大臣あてに推薦することを可とする答申。  
小名雄一郎（豪徳寺2-17-19 弁護士 再任）  
松永 聖弘（北烏山5-9-1 僧侶 新任）

○教育委員会委員任命の同意（全員賛成） 1件  
進士 五十八歳（再任）

- 委員会の所属変更（全員賛成）  
藤井まな議員（民主連）の所属委員会を区民生活委員会から文教委員会に、あべ力也議員（区民）の所属委員会を文教委員会から区民生活委員会に変更した。
- 19年第2回臨時会の議決内容  
19年12月19日に開催された臨時会で議決された案件の概要をご紹介します。

賛成多数 賛成：自民、公明、民主連、生、政策、社民、虹、無所属  
反対：共産、無党派、無所属

- 条例の改正 6件  
○区長等の給料条例（全員賛成）
- 監査委員の給与条例（全員賛成）
- 教育長の給与・勤務時間条例（全員賛成）
- 以上3件は、給料の額の改定。

賛成多数 賛成：自民、公明、民主連、生、政策、社民、虹、無所属  
反対：共産

- 職員給与条例  
以上2件は、職員の給与の改定及び規定の整備。
- 職員退職手当条例

賛成多数 賛成：自民、公明、民主連、生、政策、社民、虹、無所属  
反対：共産

- 幼稚園教育職員給与条例

賛成多数 賛成：自民、公明、民主連、生、政策、社民、虹、無所属  
反対：共産

退職手当の基本額の支給率の改定など。

## 請願

- 企画総務委員会に付託 1件  
皆さんから新しく出された請願陳情をお知らせします。
- 沖繩米軍基地海兵隊員による少女への性暴力事件に抗議し、根本的な解決を求める陳情
- 福祉保健委員会に付託 2件  
○高齢者の医療をまもるため世田谷区の特別の支援を求める陳情
- 墓地経営における名義貸し防止のために、都条例を補完する事前審査する条例を作る事を求める陳情

○都市整備委員会に付託 2件  
○旭小学校周辺地区 地区計画・地区街づくり計画（たつき台）に関する陳情
- 旭小学校周辺地区計画（たつき台）に関する陳情

○地方分権・庁舎問題等対策委員会に付託 1件  
○衆議院速記者養成所跡地利用に関する陳情

会派名等  
自民：自由民主党世田谷区議団  
公明：公明党世田谷区議団  
民主連：民主連・無所属連合  
共産：日本共産党世田谷区議団  
生：生々ネットワーク世田谷区議団  
政策：せたがや政策会議  
社民：社会民主党世田谷区議団  
無党派：無党派市民  
区民：区民の会  
虹：レインボー世田谷  
無所属：無所属

正副委員長の互選結果の報告  
○予算特別委員会  
委員長 小畑 敏雄（自民）  
副委員長 平塚 敬二（公明）  
副委員長 中里 光夫（共産）  
会派等の構成の変更  
あべ力也議員が、2月7日付で新たに「区民の会」を結成しました。この結果、区議会の会派等の構成は次のとおりになりました。

自由民主党	世田谷区議団	13人
公明党	世田谷区議団	11人
民主党	無所属	10人
日本共産党	世田谷区議団	5人
生活者ネットワーク	世田谷区議団	4人
せたがや政策	区議会	3人
社会民主党	世田谷区議団	2人
無党派	市議会	1人
区民の会	の	1人
レインボー	世田谷	1人
無所属	所	1人
合計		52人

○区議会だよりのテープ版を発行しています。視覚障害のある方など、お知り合いでご希望の方がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。

○お問い合わせやお気づきの点がありましたら、区議会事務局調査係までお寄せください。

T E L (五三三三) 二七九

F A X (五四三三) 三〇三〇

新設された世田谷二丁目ふれあい公園

本紙に掲載された質問、答弁などの詳しい内容についてお知りになりたい方は、会議録（本会議の分は5月下旬、予算特別委員会の分は6月中旬発行予定）をごらんください。なお、会議録は、区立図書館、区政情報センター、総合支所、出張所などに備えてあります。また、ホームページでもごらんいただけます。

## 編集後記

○区議会だよりのテープ版を発行しています。視覚障害のある方など、お知り合いでご希望の方がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。

○お問い合わせやお気づきの点がありましたら、区議会事務局調査係までお寄せください。

T E L (五三三三) 二七九

F A X (五四三三) 三〇三〇

新設された世田谷二丁目ふれあい公園

本紙に掲載された質問、答弁などの詳しい内容についてお知りになりたい方は、会議録（本会議の分は5月下旬、予算特別委員会の分は6月中旬発行予定）をごらんください。なお、会議録は、区立図書館、区政情報センター、総合支所、出張所などに備えてあります。また、ホームページでもごらんいただけます。

## 議会日誌

閉会中に開催された委員会

- 19年12月14日(金) 企画、区民、文教
- 17日(月) 福祉、都市、議運
- 20年1月24日(木) 交通
- 29日(火) 議運
- 2月8日(金) 企画、区民、福祉、文教
- 12日(火) 福祉、都市
- 13日(水) 分権、オウム、清掃、交通
- 18日(月) 企画、議運

会期中の主な会議日程

- 19年12月19日(水) 第2回臨時会本会議（議案の付託、議案の議決）、企画、議運
- 20年2月26日(火) 第1回定例会本会議（代表質問）、企画、議運
- 27日(水) 本会議（代表質問、一般質問）、議運
- 28日(木) 本会議（一般質問、議案の付託、議案の議決）、予算
- 29日(金) 企画、区民、文教
- 3月3日(月) 福祉、都市
- 4日(火) 分権、オウム、清掃、交通
- 6日(木) 本会議（議案の議決）、議運
- 10日(月) 予算（総括質疑）
- 11日(火) 予算（企画総務委員会所管分）
- 13日(木) 予算（区民生活委員会所管分）
- 14日(金) 予算（福祉保健委員会所管分）
- 18日(火) 予算（都市整備委員会所管分）
- 21日(金) 予算（文教委員会所管分）、福祉、議運
- 24日(月) 予算（補充質疑）、清掃
- 27日(木) 本会議（議案の付託、議案の議決、請願の付託）、福祉、議運

委員会名称

- 企画 = 企画総務委員会
- 区民 = 区民生活委員会
- 福祉 = 福祉保健委員会
- 都市 = 都市整備委員会
- 文教 = 文教委員会
- 議運 = 議会運営委員会
- 分権 = 地方分権・庁舎問題等対策委員会
- オウム = オウム問題・災害・防犯等対策委員会
- 清掃 = 清掃・リサイクル対策委員会
- 交通 = 公共交通機関対策等委員会
- 予算 = 予算委員会